



コラーレ・ドラマキッズ第3回公演

BU-N-NA!!

～水上 勉 原作 小松 幹生 脚本
「ブンナよ、木からおりてこい」より～

潤色・演出 木津 修

〔演奏〕

コラーレ・キーボードオーケストラ

- 有馬貴子
- 岩田篤
- 奥村妙華
- 覚川紗由里
- 木津さくら
- 倉田夏希
- 近藤美穂
- 佐賀友紀
- 佐度那津季
- 島桃子
- 新酒茜
- 新酒美帆
- 助田彩香
- 高木里穂
- 滝川舞
- 寺田千晶
- 中陣恵実
- 長田恵実
- 中田健登
- 中田真央
- 中田麻有子
- 浜屋千亮
- 松野さおり
- 松野春奈
- 本浜千裕
- 吉田彩乃
- 吉本麻希子

〔キャスト〕

コラーレ・ドラマキッズ

- 潤色・演出 木津 修
- 音楽監修 武藤憲夫
- 演出補助 阿部洋司
- 演技指導 森隆俊
- 宣伝美術 木津智子
- 照明・音響 小森睦美
- 制作 黒部市国際文化センター

〔スタッフ〕

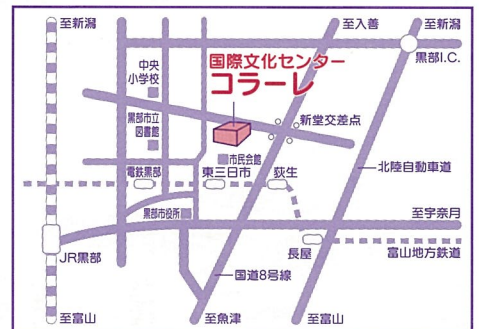
日時：2001.1.14.(日) 開場/13:30 開演/14:00

入場料 ● 全席自由 800円 (当日 1,000円)

会場 ● 黒部市国際文化センターコラーレ (カーターホール)

主催：財団法人黒部市国際文化センター 後援：黒部市 黒部市教育委員会

お問い合わせはコラーレまで TEL.0765(57)1201



BU-N-NA!!

あ
ら
す
じ

BU-N-NAはカエルの子です。人間でいえば中学校の1年生ぐらい。自意識が芽生え、少年から青年に成長する感受性が豊かで多感な年頃です。そんな時にBU-N-NAは父親を失くしました。母親とも離ればなれになってしまいました。いつしかBU-N-NAは天国にいるかも知れない父を思って、いつでも天国に近い高い所に登って空を見上げる生活をする様になりました。でも、そうしている事が、仲間のカエル達からは「仲間を高い所から見下して、さげすんでいる」様に思われ反感をかってしまいます。それでも、BU-N-NAは、高い所に登って、そこから見える風景を見たいというあこがれを切り切る事が出来ずに、ある日、ちょっとした友達との口論から、お寺の近くにある高い高い椎の木のでっぺんまで登ってみる事になります。父さんや母さんの事を思い必死に登りついたBU-N-NA。そこから見える風景は地上にいる時に想像し、あこがれていた景色を越え、素晴らしいものでした。しかし、そこは何と、あの恐ろしい鳶のエサの中継所でもあったのです……。いいかえれば、BU-N-NAにとって天国の様に見えた場所が鳶に捕まえられ、やがてエサとなる百舌やすずめやネズミにとっては、地獄の入り口にも似た場所だったのです。BU-N-NAは真にこの場所で“生きる事”“死んでしまう事”の現実を学ぶのです。そして、BU-N-NAが得たモノは……？

第3回公演に寄せて

コラーレ・ドラマキッズの公演も早いもので、第3回を数えます。メンバーにも多少の入れ替わりもありました。しかしながら着実に力をつけてくれてます。演劇に限らず、全てがそうだと思いますが「継続は力なり」真にこの一言に尽きます。

BU-N-NAは大変難しい作品です。この作品を子供達だけで上演するというのは大変な冒険です。それでも上演する事に踏み切ったのは、ドラマキッズのメンバーの熱意と協力して下さる父母の皆様、そしてコラーレのスタッフご一同、また、今年も共演を快諾しより一層感動的な舞台を創り上げて下さるキーボードオーケストラの仲間達の力があっての事です。

どうか21世紀を担う子供達の明日をより輝く世界へと導いて下さいます様、劇場に足を運んで応援して下さい。心からお願い申し上げます。

木津 修